

NEWS LETTER

2014. 3月号

「宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部」の“今”を伝えます。



NewsLetter 2014年3月号 vol.42
2014年3月31日発行

Editor 永田久美子、金澤英樹 (本学職員)
Art Director 渡邊哲意 (本学准教授)、芦谷耕平 (本学講師)
Designer 小野寺真央 (イラストレーション領域3年)
松波恵 (イラストレーション領域3年)

The graduation production work by Kanae
2014.03.08-09

東京新宿キャンパス
東京メディア・コンテンツ学部 | 大学院
〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目11番1号
TEL:03-3367-3411
FAX:03-3367-6761
E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp



表紙写真
幸村佳苗「椿」



HOT TOPICS

「トイボックス」をテーマに、 第4回卒業制作展、開催！

イラストコースの4年生が 原宿でプレ卒展を開催

古屋亜見子講師が個展「空音 空言」を開催
北見隆教授の個展「魚の園」大分のギャラリーデボラで開催

産学連携事業
「アーティストプロモーションに関わるデザイン」
「町×ヅカ」始動！

イラストレーター黒沢勝哉 (black-box) 氏と歌舞伎町壁画をコラボ制作！
雪の大川溪谷DKを渡邊准教授がディレクション

教員紹介
高田美苗専任講師 (イラスト領域)

学生紹介
ゲーム領域 河田佳美さん

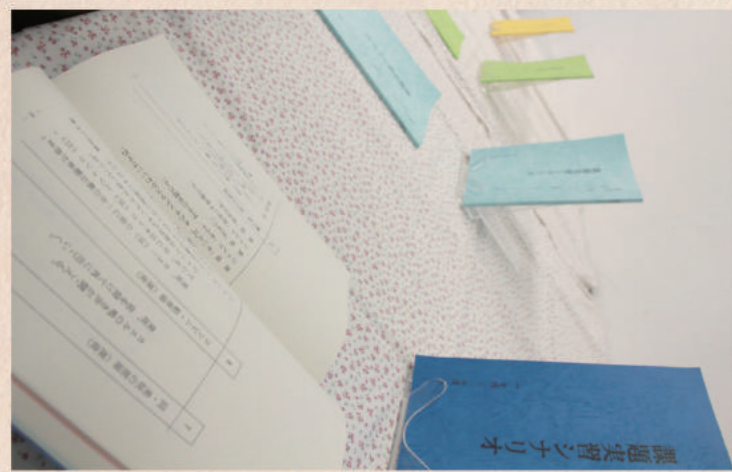
HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定



「第4回卒業制作展」(以下「卒展」)が、8日、9日に新宿キャンパスで行われました。ここでは「アニメーション」「イラストレーション」「映画」「ゲーム」「マンガ」の5コースの学生たちが、これまで授業で学んだことを元に制作した作品を発表・展示しました。企画立案・制作・運営・広報活動の全てを学生達が行い、会期中は学生の家族や友人、地域の住民の皆さん、美術雑誌の編集者など多くの人が来訪。4年間の集大成である卒展は成功裏に終わりました。



が描いた漫画を自由に手に取って読める工夫を凝らしました。またゲームコースでは、iPhoneやiPadなどのアプリの展示があり、2日目のプレゼンテーションでは、学生自身が作品のルールやプレイ方法、制作にあたってのこだわりについて解説。来場者に作品への理解を深めてもらおうと意欲にあふれていました。

「トイボックス」をテーマに第4回卒業制作展、開催!



卒展終了後、4年生のひとりが「2日間で終わってしまうのは名残惜しい。しかしそう思える卒展にできたということは、自分たちの力を出し切れたのだと思います」と満足そうに話してくれました。





イラストレーションコース4年生の有志22名による学外での「卒業制作展」が、アートスペースリビーナ（港区北青山）で開催されました（期間：2月22日～24日）。会場の作品設置・飾り付けなど全てを学生が担当。事前に打ち合わせて作品の配置図を作っておいたため、作品展示はとてもスムーズに進み、素晴らしいアート空間を作り上げました。期間中、DMを見て駆けつけた知人・友人、卒業生やアートファンなど会場を訪れた多くの人が、個性豊かな作品に興味深く鑑賞しました。

イラストコースの4年生が原宿でプレ卒展を開催！



イラストレーションコース4年生 富士原万梨恵さん(宝塚北高校卒業)に聞きました!

「どうすればその作品が一番魅力的に見えるか」をみんなであれこれ考えながらパズルゲームのように配置図を作りました。この経験が学内の卒業展示にも生かされました。私はfacebookでPRしましたが、実際に来てくれた人が感想を書き込み、それを読んだ人が本当に来てくれたことがうれしかったですね。



産学連携事業 「アーティストプロモーションに関わるデザイン」 「町×ツカ」始動!

昨年10月の学園祭ゲストとして出演した、シンガーソングライターの町あかりさん。「22歳の昭和アイドル」として売出し中の彼女の魅力を広めるため、町さん所属の芸能事務所とデザイン表現研究室とで契約を交わし、産学連携の「町あかりプロモーションプロジェクト」が発足しました。

この第一弾が、「のっぴきならない無料な紙 町×ツカ」です。制作チームとして集まったのは、イラスト・ゲーム・マンガ領域の3年生と1年生の有志の学生たち。大学生視点を生かしたインタビュー記事や厳選したコンテンツ満載のフリーペーパー第1号は、3月1日に発刊。今後は隔月に発行予定で、大学情報誌とともに配布します。創刊号は町あかりさんのライブ・イベント会場、関東・四国・九州の一部のCD店舗で配布されます。

イラスト1年生 澤田千春さん(都立深沢高校出身)
「プレストするぞ!」と言われ、その意味もわからないところから始めました(笑)。「面白いからコレやろう!」だけでは案は通らず、制作工程はどうか、実現可能なのか、多くの人の目に触れる仕事だけに無責任なことではできないことを思い知りました。一番大切にしたのは、同年代の私たちだからできる町あかりさんの魅力を引き出すことです。今後の「町×ツカ」にご期待ください!
※プレスト=ブレンスト=ミミの略。従来の方法や先入観にとらわれず、自由なディスカッションを通じて新たなアイデアや解決策を引き出す手法。出た意見に対して批判しないことが重要。



The 展示会 REPORT Date



古屋亜見子講師が 個展「空音 空言」を開催

東京・青山にあるギャラリーハウス MAYAにて、4月より本学の専任助手となる古屋亜見子講師の個展「空音 空言」が開催されました(期間:2月17日~22日)。MAYAでの個展は6回目。今回の作品は、「空音 空言(そらねそらごと)」。つまり写実ではなく「虚の世界」をテーマに約半年かけて描いた作品に、「オツベルと象」など、過去に挿絵として描いた作品を合わせた24点が出品されました。



古屋講師に聞きました!

私の絵は真実を描いていません。「そらごと」でありながら、これまでの世界から新しい世界へ一歩踏み出そうとする「何か」を描きたいと思いました。期間中は、編集者やデザイナーはもちろん、仕事のついでにふらりと立ち寄るお客様も多くいらっしゃいました。たくさんの方に「詩情にあふれている」といった感想をいただき、うれしかったですね。



北見隆教授の個展「魚の園」 大分のギャラリーデボラで開催

大分のギャラリーデボラで北見教授の個展「魚の園」を開催されました(期間:2月11日~3月9日)。北見教授が魚の絵を描くようになったきっかけは、20年以上前に魚座の絵を描いたことだそう。この企画は、「最近魚がよく絵に登場してきますね」と人から言われた北見教授が、「それならばいっそのこと開き直って魚の絵を集めてみよう」ということで実現しました。



デボラ画廊主 岡安直美さんに聞きました!

北見先生との出会いは20年前。私が画廊を始めたばかりの頃で、知人が見せてくれた北見先生のポストカードの絵に釘付けになりました。すぐに東京のアトリエに伺って作品を拝見し、感激したものです。その後、ほぼ年に一度の頻度で個展を開催しています。北見先生の絵には私も含めて熱烈なファンが多く、この個展を楽しみに、鹿児島など遠く県外からもお客様がいらっしゃいますよ。

町あかりでございませう!!
無料な「のっぴきならない紙」スタート!!
PROFILE
町あかり
1991年5月28日生まれ
東京都出身 A型
Twitter: @acow7
BLOG: http://www.acow7.com/

- HOT TOPICS
- 授業紹介
- 教員紹介
- 学生紹介
- 今後の予定

幅広い素材に触れ、
さまざまな技法を経験して

イラストレーション領域
高田美苗専任講師



子どもの頃
お絵かきが大好きだった

子ども時代で思い浮かぶのは、幼稚園のときのお絵かきです。私は頑として絵を描こうとせず、心配した母が近所の絵画教室に通わせることにしたと。通うにつれて、次第にお絵かきに抵抗がなくなっていくのを覚えていきます。

小学生になると「鉄腕アトム」や「鉄人28号」などのアニメを見たり、少年漫画を読みふけりました。料理は好きだったので、帰宅後は軽く何か作って食べ、夕方まで昼寝するのが日課でした。

中学では美術部に入りましたが高校は帰宅部。勉強するわけでもなく、絵を描くわけでもなく、私はなんだかずっと、やる気のない怠け者だったように思います。

高校生のある日、展覧会で見た彫刻に感動して一時は彫刻科を目指しましたが、これで生計を立てるのは厳しいと思い直し、女子美術大学産業デザイン科へ。卒業後、サンリオに入社してグッズのデザインに携わりました。

**「詩とメルヘン」コンクール
受賞をきっかけにフリーへ**

当時サンリオが発行していた雑誌「詩とメルヘン」は定期的にイラストコンクールを行っており、私も作品を応募し、何度か賞をいただきました。「詩とメルヘン」は、常に普遍的で抒情性のある絵を描くイラストレーターを起用していましたから、本学の北見隆先生や、今につながる人との出会いの多くは、「詩とメルヘン」がきっかけでした。

**新しい技法や素材との
出会いが学生を伸ばす**

若い頃は、自分が何に向いているかわからないものです。学生には、多くの経験の中で、自分に合った技法や素材を見つけてほしいですね。やる気のなかった学生が思いがけない素材に出会い、その後、急激に伸びる場面に私は何度も遭遇しています。例えば銅版画などは、使う道具も行程も非常に複雑なため、自分で始めるのはハードルが高い。しかしこの大学では、幅広い素材に触れ、さまざまな技法を経験できる環境があります。こうしたチャンスとの出会いを後押ししたいと思います。

★高田美苗専任講師 プロフィール
女子美術大学産業デザイン科卒業。(株)サンリオでデザイナーとして勤務後、フリーのイラストレーターとして活躍。2004年「第54回 板院展」新人賞受賞、2007年～2010年「カダケス国際ミニプリント展」入選。2007年にはファイナリストに選ばれる。国際幻想芸術協会(IFAA)所属。本学で「エディトリアルデザイン」「キャラクターデザイン」等の授業を担当。



★3月7日発売 新著のご紹介
『幻獣』(グラフィック社刊)
ギリシャ神話や中世ヨーロッパの旅行記に出てくるユニコーンやドラゴン、ケルベロスなど、ゲームやアニメでもおなじみの幻獣61種類の絵図鑑。高田先生いわく「出典を参考にしながら自分なりの解釈で自由に描いた」とのことです。

- HOT TOPICS
- 授業紹介
- 教員紹介
- 学生紹介
- 今後の予定

イラストレーター黒沢勝哉 (black-box) 氏と
歌舞伎町壁画をコラボ制作!



↑トリックアート全景



↑傘を持っているように見えるトリックアート

**新宿・歌舞伎町のイメージ
アップ**まちなみづくり団体 歌舞伎町タウン・マネージメントと宝塚大学、イラストレーター黒沢勝哉氏 (black-box) のコラボレーションが、3月14日よりスタートしました。

「アートによる歌舞伎町イメージアップ展開」として本学デザイン表現研究室が企画。場所は「新宿コマ劇場」跡地の仮囲い壁面(縦3m×横9m)で参加型トリックアート壁画「Jagzz Trick Art」KABUKICHOとして実施。第一線で活躍するイラストレーター黒沢勝哉氏がメインイラストを担当、本学イラストレーションコースの松波恵さん(習志野市立習志野高校出身)、菊地君佳さん(都立東高校出身)がその背景となる新宿の街並みを手がけました。黒沢氏は本学のデザイン概論の授業で講師に来ていただいたことも。プロと組む絶好の機会であり、多くの人の目に触れる仕事だけに、参加した学生たちは大いに刺激を受けていました。

雪の大川溪谷DKを
渡邊准教授がディレクション

福島県芦ノ牧温泉の老舗旅館大川荘の創業60周年プロジェクトとして、大川溪谷の雪の山々をキャンバスに光のアートを映し出す「デジタル掛け軸」が実施されました(期間…2月21日～26日)。世界的なデジタルアーティスト長谷川章氏とともに、過去に幾度となくデジタル掛け軸を手がけてきた渡邊准教授。しかし、建造物ではなく溪谷の対岸の雪山に照射するのは、初めての試みだったそうです。



渡邊准教授に聞きました!
これまで建物と合わせて山に照射した事はありましたが、山への照射はスケール感の違いを痛感しました。作品解説を行ったディナー会場ほか、旅館内ラウンジや露天風呂からこのデジタル掛け軸を楽しむ事ができ、訪れた人々には好評でした。

HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

学生紹介

今後の予定

オープンキャンパス



日時：4月20日(日)、5月6日(火・祝)
13:00～16:00
会場：宝塚大学 新宿キャンパス

主な内容：大学紹介、入試説明・相談
領域紹介、ワークショップ、相談コーナー
在学生とのフリートーク、保護者相談会など

HOT TOPICS

授業紹介

教員紹介

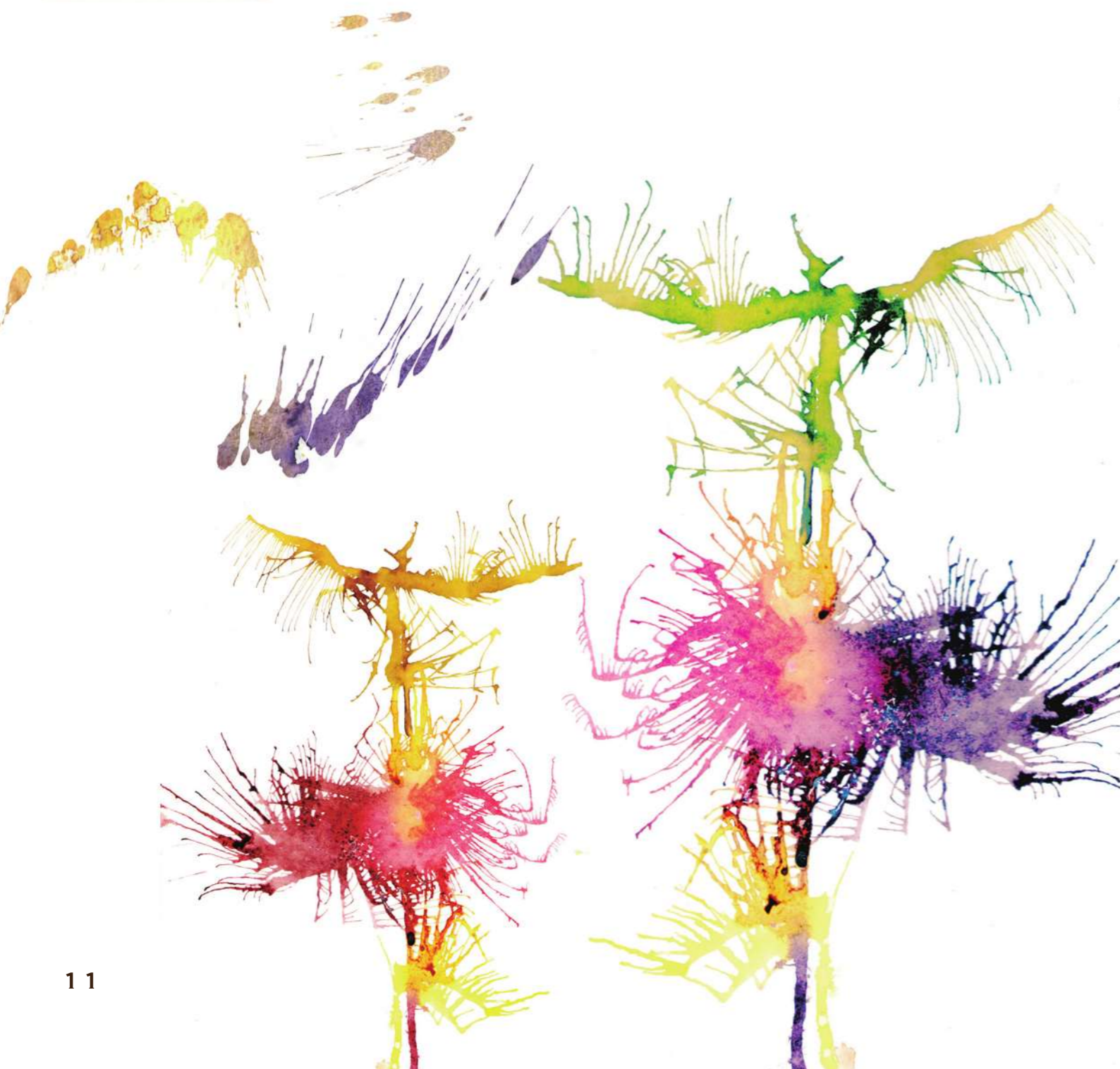
学生紹介

今後の予定

将来アタフタしないために 大学生の今、努力してみる

ゲーム領域 4年

河田佳美さん
(浦和学院高校出身)



子ども時代はとにかく体を動かすのが大好きでした。ものごころつくころから水泳を始め、小学校入学後は体操とテニス、5年生からは柔道も始めました。遊びといえば缶けりや鬼ごっこ、かくれんぼなどの外遊びしか思い出させません。一方、幼稚園の頃からお絵かきが好きで、好きなキャラクターや友達顔を描いては落書き帳がすぐいっぱい。体育と図工の成績だけは「5」でした。

高校では普通科美術コースを選び、美術部に入部。美術系大学が身につけられる「他コースの勉強もできて飽きっぽい私にも続けられる」という視点で宝塚大学を選びました。また大学在学中から仕事を始めたので、デザイン系の会社が多い新宿という立地にも魅かれました。そして何より大きな魅力は、幅広い仕事に役立つ多様なPCソフトを使って今必要なスキルが身につくことでした。

入学後は軽音楽サークルに入部し、学生たちが企画してイベントを作り上げる感動を味わいました。また単位認定の学外フィールドワークでは、大学で学びながら様々な仕事も経験しました。やる気さえあれば、現役のプロの先生方から仕事がつってくるユニークな大学、それが宝塚大学です。

河田さんの卒業制作「Another Zuka Story」。卒業制作展で銀賞を受賞した。